

2026.2.7^{SAT}—3.22^{SUN}

会場 | 鳥取県立美術館 3F企画展示室 開館時間 | 9:00—17:00(入館は16:30まで)
休館日 | 月曜日(2月23日は開館)、2月24日(火)

主催 | CONNEXIONS 展実行委員会(鳥取県、鳥取県立美術館パートナーズ、日本海テレビ、TPlat)



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

Marianna Christofides

マリアンナ・クリストフィデス

遠藤 薫

Kaori Endo

Museo Aero Solar

ムセオ・アエロ・ソラーレ

mamoru

マモル

SIDE CORE

サイドコア

刷音

シュアイン / Printing Sound

高嶺 格

Tadaso Takamine

人をつなぐ 領域をつなぐ 世界をつなぐ
国内外の7組のアーティストたちによる挑戦

コネクションズ—接続するアーティストたち

CONNEXIONS: Artists as Bridges

CONNEXIONS



公式WEBサイト

CONNECTIONS

コネクションズ—接続するアーティストたち

CONNECTIONS: Artists as Bridges



関連イベント Event

- アーティストによるギャラリー・トーク
2月7日(土) 14:00-15:30
3F企画展示室、要観覧料
- 刷音ライブ&シルクスクリン印刷会「刷音 鳥取」
2月7日(土) 15:00-
ホール、スタジオ2・3ほか、入場無料
- mamoru「声を挙げ、絶やさない」
2月8日(日) ワークショップ 13:00-14:00
公開セッション 15:00-15:30
ひろまほか美術館内、参加・見学無料
- 学芸員によるギャラリー・トーク
2月14日(土)、2月28日(土)、3月7日(土)
各回とも14:00-15:00
3F企画展示室、要観覧料

材料収集にご協力ください

Museo Aero Solar「風と太陽の美術館」プロジェクトでは、使用済みのきれいなプラスチック袋(レジ袋など)を集めています。集まった袋をつなげて巨大なバルーン美術館を作ります。館内の収集BOXに袋をお持ちください。

収集期間:10月28日(火)〜目標枚数達成まで(8000枚)

関連イベントおよび、Museo Aero Solar「風と太陽の美術館」プロジェクトについての詳細は、展覧会WEBサイトにてお知らせします

展覧会WEBサイト



鳥取県立美術館は、2025年3月に「未来をつくる美術館」として開館しました。新しい価値を育み、文化をともに育てていく場として、同時代の表現を紹介することにも力を注いでいます。その一環として開催する本展では、作品を通じて文化や社会の断絶を越え、異なる領域を架橋する国内外のアーティスト7組を招聘します。

パンデミックを経た今日、災害や戦争、グローバル経済の混乱によって、不安定さと脆さが一層際立つ世界に私たちは生きています。変化の渦に揺れる状況下で、アートはいかなるビジョンを示すことができるのでしょうか。本展は、「つながり」「関わり」を意味する「コネクションズ」をテーマに掲げ、アートと社会の未来の姿を描く企画として構想されました。音楽や演劇、パフォーマンスなど異なる領域を横断し、美術を「体験の場」へと広げる表現、そして多様な文化的背景をもつアーティストによる、世界を越境し共生の道を探る取り組みを紹介します。彼らの表現は、単なる物質的な作品を超えて、人々との体験や参加、身体を用いた実践や協働のプロセスなど多面的な行為性を含み、新たな関わりや出来事を生み出します。これらの活動は美術の領域を広げ、従来の枠を越えた表現の可能性を示すと同時に、「コネクションズ」というタイトルが示す通り、異なる文化や社会的背景を横断し、新たな関係性を築くものです。

また、会期中には、パフォーマンスやワークショップ、来場者が参加できるプロジェクトも展開します。

本展を通じて、人々の創造性が引き出され、地域と美術館、そして未来をつなぐ可能性が拓かれることを期待しています。

The Tottori Prefectural Museum of Art opened in March 2025 with the vision of becoming "a museum that creates the future." As a place to nurture new values and cultivate culture together, the museum is also committed to presenting the art of our own time. As part of this mission, this exhibition brings together seven artists and collectives from Japan and abroad whose works transcend cultural and social divides and build bridges across different fields. Today, in the aftermath of the pandemic, we live in a world where instability and fragility have become increasingly evident due to disasters, wars, and global economic turmoil. Amidst these turbulent changes, what kind of vision can art offer? Under the theme of "connections," meaning "connection" and "relationship," this exhibition is conceived as an attempt to imagine the future of art and society. It presents practices that expand art into an experiential space by incorporating elements of music, theatre, and performance, as well as initiatives by artists with diverse cultural backgrounds who seek pathways to coexistence across borders. Their practices go beyond material objects to encompass multifaceted performativity—including encounters with people, participatory processes, bodily actions, and forms of collaboration—that generate new relationships and events. These activities broaden the scope of art and point to possibilities beyond conventional boundaries, and, as the title "connections" suggests, they cross different cultures and social contexts to create new relationships. Throughout the exhibition period, performances, workshops, and participatory projects will also be presented. We hope this exhibition will inspire creativity among people and open possibilities for connecting the community, the museum, and the future.



1. マリアンナ・クリスティデス《Restor(y)ing Waters/Rivers, Banks》展示風景、2024
Marianna Christofides, *Restor(y)ing Waters/Rivers, Banks*, installation view, 2024. Photo Natalia Tsoukala | courtesy NEON © Marianna Christofides | VG Bild-Kunst, Bonn 2024

2. 遼藤薫《重力と虹霓—南波照間島について》2023、展示風景、大阪中之島美術館
Kaori Endo, *Gravity and rainbow/About the "Pai-Patiroma" phantom island*, 2023. Installation view at Nakanoshima Museum of Art, Osaka, Japan. Photo by the Artist

3. ムセオ・アエロ・ソラー《ムセオ・アエロ・ソラー—チェンライ》2023-2024
Museo Aero Solar, *Museo Aero Solar—Chiang Rai*, 2023-2024. Courtesy Museo Aero Solar, in particular communities of the Chiang Rai Biennale, Thailand. Photo Credit: Joaquín Ezcurra, Aerocene

4. mamoru《声を挙げ、絶やさない》2021—Szczecin (ポーランド)でのグループワークの様子、2024年5月15日
mamoru, *NEVER BENO VOICE*, 2021-ongoing. group work session, May 5, 2024 at Szczecin (Poland). photo: Tien Zong Yuan

5. SIDE CORE/EVERYDAY HOLIDAY SQUAD《rode work ver. tokyo》2018/2022 展示風景、森美術館 2022-2023
SIDE CORE/EVERYDAY HOLIDAY SQUAD, *rode work ver. tokyo* 2018/2022. Installation view at Mori Art Museum, 2022-2023. Photo: Kioku Keizo

6. 刷音《刷音》ワークショップ風景、2018年12月14日、四方当代美術館、南京
SURE INN, *Printing Sound*, workshop view from Printing Sound, December 14, 2018. Sifang Art Museum, Nanjing.

7. 高嶺格《いかに考えないか》2010、あいちトリエンナーレ2010、セツ寺共同スタジオでのパフォーマンス
Tadasu Takamine, *How Not to Think?*, 2010. Nanatsudera Kyodo Studio, AICHI TRIENNALE 2010.

※画像は実際の展示とは異なります

観覧料 Admission Fee

一般:1200円(950円)、学生:750円(600円)、
高校生:500円(400円)、小中学生:300円(240円)
※()内は前売料金・20名以上の団体料金
※未就学児、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料
※企画展チケットで当日コレクション展もあわせてご覧いただけます

交通アクセス Access

【鉄道・バスの場合】

JR 倉吉駅よりバスで約10分、「県立美術館前」下車

【倉吉駅まで】

鳥取砂丘コナン空港からバスで約45分

米子鬼太郎空港からJR特急等で約1時間10分

大阪駅からJR特急で約3時間

岡山駅からJR特急で約2時間40分

【車の場合】

岡山・広島方面 米子道 湯原ICから約50分

大阪方面 中国自動車道 院庄ICから約1時間

※駐車場あり(110台)

オンラインチケット Online Ticket

前売料金:2025年12月7日(日)~2026年2月6日(金)

通常料金:2026年2月7日(土)~2026年3月22日(日)

※窓口での当日券販売もございます。



ArtSticker



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12
TEL 0858-24-5442 (代表)
https://tottori-moa.jp



鳥取城跡で、アートにであう。

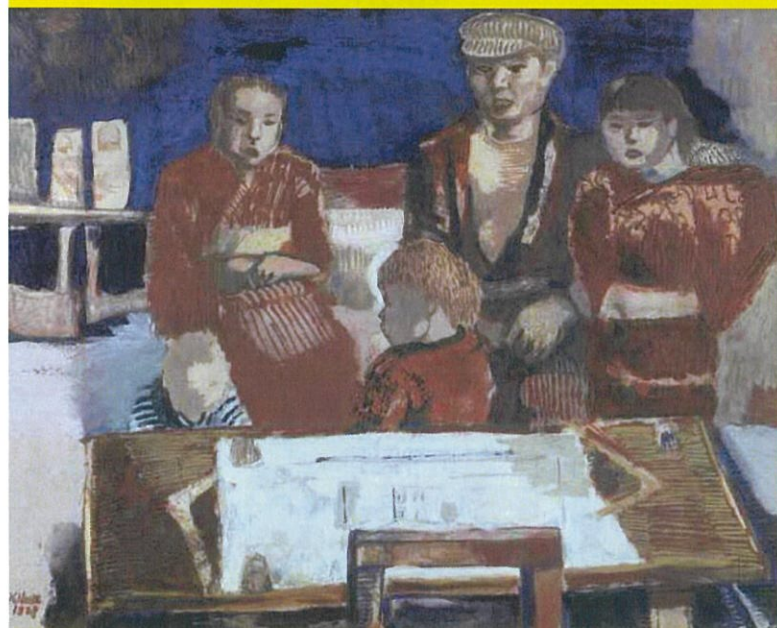
バリエーション！

美術コレクションの

鳥取県があつめた



与謝蕪村《風竹図屏風》(右隻)江戸中・後期 紙本墨画 鳥取県立美術館蔵(石谷コレクション)



前田寛治《棟梁の家族》1928年 油彩・キャンバス 鳥取県立美術館蔵



アンディ・ウォーホル《ブリロ・ボックス》1968年 シルクスクリーン、木 鳥取県立美術館蔵
© 2025 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by ARS,
New York & JASPAR, Tokyo G4048

江戸絵画から ブリロ ボックスまで

令和8年

2.28 SAT — 3.22 SUN

開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで) ※会期中の月曜休館

会場 鳥取県立博物館 2階 第1・第2特別展示室
(鳥取市東町2丁目124)

観覧料 一般400円(前売り・20人以上の団体:300円)

※大学生以下、70歳以上、学校教育活動での引率者、障がいのある方・難病患者の方・要介護者等及びその介護者は無料

※前売券は2月27日(金)までローソンのみで販売。チケットのLコードは「62548」。店頭のLoppiでお手続きください。



鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

お問い合わせ: 鳥取県立美術館学芸課 TEL.0858-24-5441

主催: 鳥取県立美術館
共催: 鳥取県立博物館



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM



鳥取城跡で、アートにであう。

江戸絵画から

鳥取県があつめた美術コレクションのバリエーション!

ブリロ・ボックスまで



黒田清隆(群鯉図)1836年、絹本着色、鳥取県立博物館蔵(安富コレクション)

令和7年3月30日に開館した鳥取県立美術館のコレクションギャラリーで紹介される美術作品は、鳥取県がこれまで50年以上の歳月をかけて収集してきたものであり、「鳥取県の美術」を中心に、「国内外の優れた美術」、「同時代の美術の動向を示す作品」によって構成されています。

本展は、その作品群をより多くの県民の方々に楽しんでいただくため、鳥取県東部地区に位置する鳥取県立博物館の特別展示室を会場に、選りすぐりの作品によって展示内容を組み立て、企画展として開催するものです。会場では、江戸時代の優れた画家たちの作品や、近代以降の民藝運動に関係した様々な工芸家の作品、そして前田寛治や伊谷賢蔵、辻晋堂、塩谷定好、植田正治といった鳥取県を代表する美術家たちの作品が並びます。さらに、近年収集した作品の中から、アンディ・ウォーホルの《ブリロ・ボックス》、フランスの画家ジョルジュ・ルオーの作品、日本の現代美術をリードする森村泰昌などの作品も紹介し、拡大していく鳥取県の美術コレクションの魅力に触れることのできる機会を提供します。



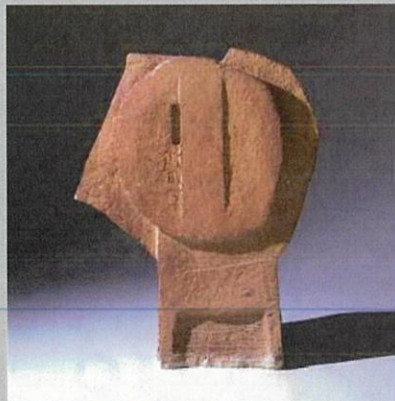
植田正治《オーヴェールの教会》1924年、油彩・キャンバス、鳥取県立美術館蔵



森村泰昌《セルフポートレート(女優)ノバリエーションとしての私》21996年、クロモジュニック・プリント、鳥取県立美術館蔵
© the artist. Courtesy of ShugaArts



前田晴洋《白雲面取盃》1991年、磁器、鳥取県立博物館蔵 撮影：菅原孝



辻晋堂《沈黙》1957年、陶彫、鳥取県立美術館蔵

関連プログラム

尾崎信一郎・鳥取県立美術館館長によるギャラリートーク
3月7日(土)14:00~15:00 定員なし/要入館料

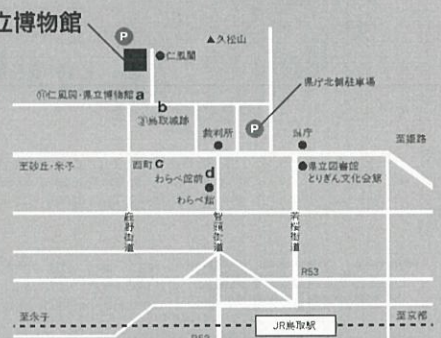
大人も子どもも一緒に!
おしゃべりしながら学芸員とめぐるギャラリートツアー
2月28日(土)、3月14日(土)、21日(土)
各日とも14:00~15:00 定員なし/要入館料

交通のご案内

- ◎JR鳥取駅からバスで
 - a. 100円バス「くる梨(緑コース)」で「①仁風閣・県立博物館」下車すぐ
 - b. ループ麒麟獅子で「③鳥取城跡」下車すぐ
 - c. 砂丘・湖山・賀露方面行「西町」下車約400m
 - d. 市内回り岩倉・中河原方面行「わらべ館前」下車約600m
- ◎JR鳥取駅からタクシーで…約10分 ◎お車で…鳥取自動車道・鳥取ICより約15分
- ◎鳥取砂丘コナン空港から…鳥取駅行連絡バスで「西町」下車約400m

博物館駐車場40台
なるべく公共交通機関をご利用ください

鳥取県立博物館



鳥取県立博物館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM

〒680-0011 鳥取市東町二丁目124
TEL 0857-26-8042 FAX 0857-26-8041
<https://www.pref.tottori.lg.jp/museum>
Mail hakubutsukan@pref.tottori.lg.jp



鳥取県立美術館 祝 開館 1 周年 記念イベント

子どもも おとなも わいわい! どんどこ! ホンモノカシサイズの紙相撲大会



巡業 カシ制作ワークショップ

2026年 3月 20日 [金祝] とりぎん文化会館
21日 [土] 鳥取県立美術館
22日 [日] 米子市児童文化センター
14時～16時迄

チームでアイデアを出しあつて
ダンボールで大きなカシを作ろう。

参加者募集! 詳しくはウェブサイトへ!



裏方も本気!
土俵の外のプレイヤー
大募集!
本場所の取り組みをささ
える裏方や谷町も参加型。
まずは説明会にご参加
ください!

日時 1月18日 [日]
13時30分～15時

三和段ボール杯 SANWA BOXES

どんどこ! 巨大紙相撲 とりけんび場所

鳥取県内最強の
ダンボールカシが決まる

本場所 2026年 3月 29日 日曜日
13時～16時迄

当日コレクション展観覧無料!!

会場 鳥取県立美術館 / ひろま

問合せ: 鳥取県立美術館
電話 0858-24-5442

みんなの気持ち
土俵に伝わる!
優勝カシや参加カシへの懸
賞品提供でとりけんび
場所を応援してくれる方
を募集しています。



SANWA BOXES

鳥取県立美術館 祝開館1周年記念イベント

「どんどこ! 巨大紙相撲」とっとりけんび場所

新入幕は身長180センチの巨大紙力士たち。
しこ名や職もみんなの手づくり。
個性豊かな力士たちは見所満載。
地元のみなさんもごひいき力士をみつめて頂戴。
目指すは千秋楽の一番。
仲間どうしでオリジナル力士を作って
3月29日の本場所に出場させよう。
2025年3月30日に開館した鳥取県立美術館は、
おかげさまで1周年! する人、みる人、ささえる人も、
みんなと一緒に祝いましょう!

巡業 カシ制作ワークショップ

ダンボールで等身大の大きな力士をつくる「巡業」を、
鳥取県東部・中部・西部3箇所の会場で行います。
大相撲さながらの本場所で最強を目指そう!
対象 子どもからお年寄りまでどなたでも
※小学3年生以下の方は大人と参加してください。
※「本場所」に参加できることが条件です。
※3〜5人程度のチームでお申込みください。
各会場、8チーム「全部で24チーム」応募多数の場合は抽選

定員 各会場、8チーム「全部で24チーム」応募多数の場合は抽選

日程 3月20日「金祝」14時〜16時
3月21日「土」14時〜16時
3月22日「日」14時〜16時

会場 鳥取県鳥取市尚徳町101-5
鳥取県立美術館/スタジオ2・3
米子市児童文化センター/多目的ホール
(鳥取県米子市西町133)

本場所

3月29日「日」13時〜16時 鳥取県立美術館/ひろま

裏方も本気! 土俵の外のプレイヤー大募集!

「どんどこ! 巨大紙相撲」は力士チームとして参加するだけでなく、
多くの人が一緒に場をつくる、参加型のアートプロジェクト。
本場所の取り組みをささえてくれる裏方・谷町を募集します。

裏方の
主な役割
● 行司 ● 呼出 ● 太鼓叩き ● 勝負審判 ● 解説
● コメンテーター ● 会場づくり ● 受付 ● 力士誘導など

谷町
募集
優勝力士や参加力士への懸賞品提供で巨大紙相撲を応援しよう!
本場所では、谷町の団体名個人名を「懸賞幕」で披露します。

〈例〉

- お米券、商品券、招待券 ● 文房具、おもちゃなど
 - 駄菓子子の詰め合わせ、バック飲料など
- ※作品保護のため、美術館内には生花や野菜等のむき出しの食品は持ち込めません。

★それぞれWEBフォームにて受付 2月28日「土」16時〆切

〈まずは事前説明会にご参加ください〉

イベントの開催趣旨や、それぞれの役割について詳しくご説明します。
皆さんからの質問のほか、本場所を盛り上げるアイデアも大歓迎!
奮ってご参加ください! 「事前申込不要」

日時 1月18日「日」13時30分〜15時

会場 美術館1Fホール

講師 土谷享 (KOSUGEI-16)

裏方募集集中!



参加者大募集!



鳥取県立美術館へのアクセス

倉吉駅から、バスで「県立美術館前」下車すぐ、
または「倉吉パークスクエア北口」下車徒歩8分
タクシーで約9分
駐車場あり(110台)

◎参加方法

・【巡業】 ①-③のワークショップの中からひとつ選び、WEBフォームにてチームごとにお申込みください。
(2月28日「土」16時〆切)締切後1週間以内を目安に抽選し、結果を皆さまにご連絡します。

・【本場所】 観覧はどなたでもできます。直接会場にお越しください(出入り自由)

◎参加費: 無料

*3月29日「日」はコレクション展観覧料が無料となります。

◎ワークショップ講師: 土谷 享 (KOSUGEI-16)

全国各地で参加型の作品を通して、人々の中に「もちつもたれつ」という関係をつくりだすアーティスト。
「どんどこ! 巨大紙相撲」は美術家ユニット KOSUGEI-16 によるワークショッププログラムです。

◎問い合わせ

鳥取県立美術館

鳥取県倉吉市駄経寺町2-3-12

電話 0858-24-5442 (休館日を除く9時〜17時)

TOTTORI
鳥取県立美術館
TOTTORI PREFECTURAL MUSEUM OF ART

【申込】

